



②紅葉したり、赤、オレンジが
とんでいたり…目にも
まいしい!!



山でたべるおやつは
いつてもまいしいですが、
秋の山でも格別です♪
スタッフより



秋山へ何を着ていく?
まだまだ平地は残暑がきつく暑い日が続きますね…山は涼しくなって秋を感じようになってしまっています。秋は紅葉もきれいだし、秋晴れの空は何とも清々しくすっと山に届くくなっています。一方、登りでは暑くなり、立ち止まるとすぐに寒くなってしまうというやや辛い季節でもあります。
まずは、冷え込みや風へアツリをアーマーとして。水を含まない素材でできています。アーマーを一枚着ることで濡れた衣服と肌の接触を防ぎ、冷えの防止に役立ちます。その上に「ベースレイヤー」を着ます。ベースレイヤーは構成物は動きやすいので、動きで代謝を活性化する物があらわれます。代謝の特徴は動き早いですか「臭い」が出やすいです。ウェルの特徴は速乾性は代謝には劣りますが、抗菌効果が高く臭いが出にくいで身の登山や、ロングトレイルに向っています。
立ち止まつ時に寒を感じたら、ジャケットを着ることも有効ですが、これら季節には防寒着もまとめて休憩中のコートを樂しいです。防寒着は、タウンと代綿、フリースにあります。タウンはコニハワで保温性が高い一方で、湯気に弱く、行動着としてではなく休憩中の保温着、マント、小屋泊の際には役立ちます。代綿、フリースはやはりあってほしいですが、濡れても保温性が落ちこないので、寒着だけではなく、冬の行動着にも使えます。

秋もどんどん山に行こう!!